



**■ 報告：放射能汚染セミナー「食べる？測る？あなたならどうする」**

サンフォルテカレッジ企画型の助成を得て、10月5日に放射能汚染セミナーを実施しました。

午前の部では「みんなのデータサイト」で検索できる測定結果をもとにして、講師の大沼章子さんに食品に関する放射能汚染の現状について解説していただきました。午後の部は測定室で測定実習を行いました。

はかるっチャは継続して「放射能汚染セミナー」をしたいと考えています。次回はピギナーを対象としたセミナーの企画を考えています。〔裏面:新聞記事参照〕

**■ 宣伝：はかるっチャ支援の地産Tシャツ販売中！**

「Peace World」TシャツをHPで宣伝・販売しています。売上の一部が「はかるっチャ」支援になります。

オーガニックコットン以外は富山県内の工房でデザイン&プリントした手作り商品です。発ガン性物質のホルムアルデヒド、ダイオキシン類を含まない水生インクを使用。肌触りがよくて優しい色合いが好評です。当HPで詳細をご覧ください、ご注文をいただければ幸いです。どうぞよろしくお願い致します。



**■ 富山市学校給食会のHPで給食食材の産地公開**

「公益財団法人富山市学校給食会」のホームページ(<http://www.tomigakkyuu.com/>)で毎月の青果物予定産地の公開が始まりました。

同給食会のHPには「給食を支え、食育にとりくむ富山市学校給食会」と書かれています。「食育」「地産地消」の観点からも食材産地公開は重要ですね。

皆さん、こまめにアクセスしてみてください。アクセスの回数が多いほど、給食食材への関心の高さを示すことができます。給食食材の監視を続けていきましょう。可能ならば測定もしたいですね。

**■ 乾しシイタケのクロスチェック結果報告**

乾しシイタケの測定結果を前回のニュースで報告しましたが、セシウム137の検出が見られた「日本産原木乾しシイタケ(2012年産、産地不明)」のクロスチェックをゲルマニウム半導体測定器で実施(10月中旬)しました。

測定結果は以下のとおりです(計数誤差は1σ表記です)。

Cs-137 69.1±1.5 Bq/kg

Cs-134 19.8±0.88 Bq/kg

137と134の合算は100 Bq/kg以下ですが、依然として乾しシイタケは放射能汚染の可能性が高い商品であることがわかります。

**■ 「はかるっチャ」の年末年始のスケジュール**

2014年、多くのご協力・ご支援を頂きありがとうございました。12月21日(日)から1月11日(日)までお休みさせていただきます。2015年は1月13日(水)から測定を始めます。来年もどうぞよろしくお願い致します。心温まる年末年始をお過ごしください。

**■ 報告：富山県内の天然キノコの放射能汚染**

県内で採取された天然キノコの放射能測定を9~12月まで実施しました。検体名と採取地および測定結果は以下のとおりです。〔不検出横の( )内数値は測定下限値〕

- 1) マイタケ 有峰(大多和峠、岐阜県境近く)  
Cs-137 4.16±2.5Bq/kg, Cs-134 不検出(1.6Bq/kg)
- 2) マイタケ 有峰(西谷付近)  
Cs-137 2.21±2.06Bq/kg, Cs-134 不検出(1.6Bq/kg)
- 3) マイタケ 有峰(小口川)  
Cs-137 5.69±3.44Bq/kg, Cs-134 不検出(2.3Bq/kg)
- 4) マイタケ 有峰(東西半島、尾根)  
Cs-137 不検出(3.3Bq/kg), Cs-134 不検出(3.2Bq/kg)
- 5) ナラタケ 有峰(小口川)  
Cs-137 10.9±4.73Bq/kg, Cs-134 不検出(2.4Bq/kg)
- 6) ナラタケ 細入村(庵谷、山道横)  
Cs-137 不検出(4.5Bq/kg), Cs-134 不検出(4.4Bq/kg)
- 7) ナメコ 細入村(庵谷、山道横)  
Cs-137 不検出(4.8Bq/kg), Cs-134 不検出(4.8Bq/kg)
- 8) ナメコ 有峰(小口川)  
Cs-137 不検出(1.4Bq/kg), Cs-134 不検出(1.4Bq/kg)
- 9) ナメコ 立山町(大辻山林道付近)  
Cs-137 4.81±2.72Bq/kg, Cs-134 不検出(1.7Bq/kg)
- 10) ナメコ 八尾町(庵谷)  
Cs-137 2.37±2.05Bq/kg, Cs-134 不検出(1.6Bq/kg)
- 11) ナメコ 富山市原(極楽坂スキー場 尾根沿いの道付近)  
Cs-137 21±7.31Bq/kg, Cs-134 不検出(2.6Bq/kg)
- 12) ナメコ 朝日町(大平山への登山道付近)  
Cs-137 9.47±3.78Bq/kg, Cs-134 不検出(1.8Bq/kg)

上記12検体全てにセシウム134の検出がありませんでした。故に福島原発事故由来の放射性セシウムではなく、大気圏内核実験やチェルノブイリ原発事故などにより、地球規模で拡散した放射性物質の影響が天然キノコに残っているものと思われます。

県内の土壌放射能調査をされた富大の丸茂教授によれば、積雪が多い場所は地球規模で拡散した放射性物質が雪と共に降下・蓄積する傾向にあるとのこと。また1964年ごろの天然キノコには、現在の4倍の放射性セシウム(134&137)が含まれていたと考えられる、とのこと。

**調査測定「魚を測定しよう！」**

(12月1日~3月末まで)

**測定料金無料**



ホカホカ鍋の具材のタラや鮭、刺身のマグロなどに不安を感じておられる方はいませんか?スーパーで販売されている魚が大丈夫かどうか知りたいと思ったら、ご連絡(070-5062-7334)ください。

はかるっチャでは漁場対象を全海域にした「魚」の調査測定を行っています。魚を測定試料として提供していただく場合は、測定料金が無料となります。

皆様のご協力をお願いします。